

徳島県理学療法士(協)会  
代議員立候補者

定 数 : 4 名

立候補者数 : 4 名



氏名 平澤 小百合

都道府県士会 徳島県

年齢 54

勤務先名称 阿南名月苑



氏名 仁木 半

都道府県士会 徳島県

年齢 51

勤務先名称 徳島医療福祉専門学校

### 協会・士会役員歴

平成25年度～ 徳島県理学療法士会理事

### 協会・士会役員歴

H21年～現在 徳島県理学療法士会 財務部 部長

### 立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させて頂き平澤小百合です。今回、代議員選挙立候補に至ったきっかけは日本理学療法士協会理念である「すべてのひとの健康と幸福を実現する」ためにお役に立つことがしたいと思ったからです。現在、徳島県理学療法士会では、社会局地域リハ部部長として地域包括ケア推進担当をさせて頂いており、地域包括ケアシステム構築・推進に取り組んでおりますが、私自身が実際に市町村で自治体職員さんや住民さんに関わらせて頂き感じることは、地域での理学療法士の期待度は高く、今後も介護予防等に関与する場も多いと感じております。同時に多様な働き方に対応していくためにも理学療法士の職域拡大は重要であり、地域を含めた理学療法士の活躍できる環境づくりに貢献したいと考えております。そして、地域の要望に応えられるのは理学療法士であると言われるよう活動していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 立候補の趣旨

平成21年より理事として徳島県士会の活動に関わらせていただいております。その中で情報発信の重要性を実感しております。若い会員や女性会員の増加に伴い、いかに協会や士会活動に関心をもってもらうか、参加してもらうかが大切だと感じています。今後ますます教育機関と病院施設との連携、地域とのかかわりが重要となります。他県とも情報交換を行い協会とも連携をとり情報発信できればと思います。今後の時代を担う若い人材の育成とともに、できるだけ多くの会員の皆様に、理学療法士会の活動に目を向け、関心を持っていただけるよう、お役に立てればと考えております。



氏名 鷺 春夫

都道府県士会 徳島県

年齢 52

勤務先名称 徳島文理大学



氏名 東田 武志

都道府県士会 徳島県

年齢 52

勤務先名称 小松島病院

### 協会・士会役員歴

協会役員歴	
1997年4月～現在	徳島県理学療法士会 代議員
1999年7月～2003年6月	協会 保健福祉部部長 (四国ブロック代表)
2014年6月～2015年6月	協会 広報啓発業務執行委員会委員
2015年6月～2017年6月	協会 将来構想戦略会議・教育対策本部委員
2017年6月～現在	協会 倫理委員会委員
士会役員歴	
1991年4月～1993年3月	徳島県理学療法士会 教育部委員
1993年4月～1995年3月	徳島県理学療法士会 老人福祉部部長
1995年4月～2008年3月	徳島県理学療法士会 地域リハビリテーション部部長
2008年4月～2014年3月	徳島県理学療法士会 副会長 兼 社会局局长
2014年4月～現在	徳島県理学療法士会 会長

### 協会・士会役員歴

昭和61年	徳島県理学療法士会 入会
平成5年	徳島県理学療法士会 老人福祉部 委員
平成7年	徳島県理学療法士会 社会局 地域リハビリテーション部長
平成23年	公益社団法人徳島県理学療法士会 理事
平成26年	公益社団法人徳島県理学療法士会 副会長
平成28年	日本理学療法士協会代議員

### 立候補の趣旨

平成26年度から徳島県理学療法士会会長となった後、公益社団法人を取得し公益事業の推進に力を入れてきました。平成27年度から3年間地域医療介護総合確保基金事業において地域包括ケアシステム人材育成事業などの3事業を実施した他、平成27年度以降には鳴門市、みよし広域連合、阿南市、海陽町、石井町と「介護予防の充実及び地域リハビリテーション活動の推進に関する協定」を締結、また、徳島県リハビリテーション専門職協議会の立ち上げにも尽力し、各市町村の介護予防事業等の充実に協力してきました。また、学術面では平成29年度に四国理学療法士学会を担当した他、平成31年度には日本理学療法学会大会を開催することが決まり、これらの経験を踏まえて、士会員の質的な向上を図りたいと考えています。

このような本会がさらなる躍進を図るためには、協会と一体となり事業を展開していくことが重要であると考え、今回再び代議員に立候補することとしました。代議員となり、協会の意向を十分理解するとともに、士会の意向を協会に積極的に反映していただき、円滑な士会運営を行いたいと考えています。

### 立候補の趣旨

現在の私は理事・副会長として徳島県理学療法士会の活動・運営に携わっています。また徳島県作業療法士会、言語聴覚士会と合同で徳島県リハビリテーション専門職協議会を立ち上げ、合同で行う研修会や、地域のニーズに対応したリハ専門職の育成や派遣にも関わっています。2025年、地域包括ケアシステムの構築に向けリハビリテーションを取り巻く制度、環境は大きく変わろうとしています。日本理学療法士協会も地方自治という時代の流れと同じように各県士会の役割を重視しています。地域の医療、介護、保健、福祉、教育、労働衛生の分野で私たち理学療法士が今まで以上に必要とされ、その役割を果たせるよう代議員として努力してまいりたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。